

2016年(平成28年)7月30日 土曜日

筑後版

## 「海の幸」レリーフに

久留米市出身の洋画家青木繁の代表作「海の幸」を描いたレリーフが、同市荘島町の青木繁旧居に設置され29日、除幕式があった。寄贈した韓国の大秀林文化財団の理事長、河正雄さん(76)は埼玉県川口市には「両国の交流の懸け橋になつてほしい」と期待を寄せている。

在日2世の河さんは、画家に憧れた経験から不動産賃貸業で成功後、美術館へ絵画寄贈を続けている。昨年、戦後70年と日韓国交正常化50年を

(森田明理)

久留米市出身の洋画家青木繁が描かれた千葉県館山市の小谷家住宅や韓国の美術館計5ヶ所に寄贈した。レリーフはブロンズ製で、幅約1メートル80センチ、高さ72センチの原

### 久留米の青木繁旧居に設置

### 日韓交流の懸け橋へ

設置されたレリーフを前に笑顔を見せる河正雄さん(左)



筑  
後

### 久留米総局

〒830-0021  
久留米市篠山町12-3  
0942-32-5361  
FAX 32-5363  
kurume@nishinippon-np.jp